

普及だより

いわき

サンシャインいわき!
笑顔あふれる農林業をめざして!!

Vol. 150 2018 03



あかい菜園(株) 施設

第三者認証 GAP 取得・推進状況

いわき地区では、平成30年2月27日現在、5件の農家・農業法人が第三者認証GAPを取得し、安心・安全を形にするためのルールづくりと記録に取り組んでいます。

当農林事務所農業振興普及部は、平成30年度以降も、積極的に第三者認証GAPの取得を支援してまいります。

※GAPとは、安心・安全に関する農場のルールを決め、そのルールに沿って行動し、行動した結果を記録し、さらなる改善に取り組むことで、第三者認証GAPは、その取り組みを第三者に認めてもらうGAPのことです。

編集・発行 福島県いわき農林事務所 農業振興普及部

農業振興課 (0246)24-6160

経営支援課 24-6161

地域農業振興課 24-6162

FAX (0246)24-6169

E-mail shinkouhukyu.af07@pref.fukushima.lg.jp

第三者認証 GAP 取得農業を訪ねて～事例紹介～

事例①「あかい菜園株式会社」

認証取得日：2017年3月19日 種類：JGAP 品目：トマト、ミニトマト

あかい菜園株式会社は、トマト・ミニトマトの養液栽培をしています。作業効率の向上を目的に、各個人任せであった作業や手順を統一し、明確化するため、第三者認証 GAP に取り組みました。

- ・利用頻度が高いハサミは作業用ロッカーに整理して保管する。
- ・箱詰めする作業場所等の蛍光灯にカバーを設置し、ガラス片等の混入を防止する。
- ・出荷資材を用途毎に分類する。 ・農薬や肥料の在庫管理(書類での記録)を行う。

これらを行うことで、資材のロスが減ったり、従業員にとって安全な環境が保たれています。



用途毎に分類された出荷資材



整理された書類

事例②「磐栄アグリカルチャー株式会社」

認証取得日：2017年9月25日 種類：JGAP 品目：フリルレタス

磐栄アグリカルチャー株式会社は、人工光、無農薬、水耕栽培によるフリルレタスの栽培を行っています。安全な農産物を提供していることを目に見える形で PR するため、第三者認証 GAP 取得に取り組みました。

- ・レタスが肥料で汚染されないよう、肥料を決められた場所に置き、ビニールシートで覆う。
- ・フリルレタスの作業日や生育ステージを記載し、適切な管理作業を行う。



作業日や生育ステージを記載

これらを行うことで、従業員が安全性を意識するようになり、積極的に意見交換を行うようになり、各作業の責任者が明確になり、自主的に行動する機会が増えたという効果がありました。

補助事業について～第三者認証 GAP 取得等促進事業～

第三者 GAP 認証取得に係る費用を補助しています。補助率は100%で、上限はありません(ただし、場合により消費税は除きます)。

補助対象は、研修会への参加、検査(放射性物質、水質、土壌、残留農薬など)、農薬保管庫、認証 GAP 審査などの経費になります。補助対象と認められるには、GAP 認証取得に必要であることが前提条件です。

事務手続きなどについては、農業振興課(電話 0246-24-6160)までご連絡ください。

平成29年度米の全量全袋検査の結果

今年度で6年目を迎えたいわき市の米の全量全袋検査は、2月28日現在488,066点の検査が終了し、放射性セシウム濃度が基準値(100Bq/kg)を超えたものはありません。

また、平成28年産米では、25～50Bq/kgのサンプルが63袋ありましたが、本年産米では0袋と、大きく減少しました。

いわき市では、平成30年度に、吸収抑制対策を実施しない実証ほ場を設置(カリ卒)し、塩化カリの追加散布を終えられるようカリ卒試験を行ってまいります。

県は、全量全袋検査について、今後も全ての検体で国の基準値を超えない場合、早ければ平成32年産米から抽出検査に移行させる予定です。

セシウム濃度 (Bq/Kg)	0～25	25～50	51～75	76～100
検査点数(H29年産)	488,066	0	0	0
検査点数(H28年産)	500,229	63	0	0

平成29年度「人・農地プラン」策定状況

高齢化と後継者不足のため、将来、農地と農業を誰が担い、どのような地域にするのかなどの課題を地域全体で話し合い、未来の姿を考え、描くのが「人・農地プラン」です。

今年度は新たに4地区が策定し、いわき市全体で20地区がプランの実現に向けて、農地中間管理事業の活用や補助事業の導入等に取り組んでいます。

農林事務所では、市や農業委員会、JA、農地中間管理機構地域マネージャー等と連携し、プラン策定と実現に向けてお手伝いしています。

皆さんの地域でも、話し合いを始めませんか。



プラン策定のための打合せの様子

女性認定農業者のメリットをご存知ですか？

農業経営に関わる女性の皆さま、認定農業者になると、農業者年金の積み立てに国庫の上乗せ補助(39歳以下)があります。また、これ以外にも大きなメリットがあります。

認定は単独と共同での申請に大別されます。家に既に認定農業者がいる場合、家族経営協定の締結(営農に係る家族間の取り決を书面化)により共同申請が可能となり、認定のハードルを下げつつ、認定農業者として支援措置を有効活用できる見込みがあります。

女性からの積極的な農業経営参画をお待ちしております。



県内の農業女子が相互に交流するための「ふくしま農業女子ネットワーク」もあります。会員募集中！ぜひHPをご確認ください！

ふくしま農業女子

検索

平成30年度新規補助事業について

県では、2月に当初予算案を発表しました。農林水産の平成30年度については、「ふくしま農林水産業再生プラン」の目指す姿の実現に向けて、重点戦略に掲げる「避難地域における農林水産業再生プロジェクト」を始めとする9つのプロジェクトを重点的・戦略的に推進するとともに、「東日本大震災及び原子力災害からの復興」を始めとする7つの施策の展開方向を柱に編成されています。

平成30年度の新たに予算化された主な事業は以下のとおりです。申請にあたっては、要件を満たす必要がありますので、詳しくは農業振興課(電話 0246-24-6160)までご相談ください。

分野	事業名	事業内容
水田	多彩なふくしま水田農業推進事業 ・ふくしま米オール“特A”獲得推進事業 ・ふくしま水田高度利用推進事業	・本県主要7品種・銘柄全てで「特A」を目指す取組を支援します。 ・水田における「1年2作」及び「2年3作」体系の導入を支援します。
園芸	「果樹王国ふくしま」グローバルリンク事業	輸出拡大を支援します。
	施設園芸産地スケールアップ緊急整備事業	産地パワーアップ事業※の補助(1/2)に県費で1/10かさ上げします。
	実り豊かなふくしまの産地整備事業	産地パワーアップ事業※の要件に満たない取組を支援します。
畜産	ふくしまの畜産復興対策整備事業 ・法人化・共同化農場増頭対策事業	法人化・共同化農場が乳用牛を110%以上に増頭した場合に補助します。
担い手の育成	農業経営法人化支援事業(国庫)	農業経営の法人化(40万円)、組織化(20万円)等の取組を支援します。

※産地パワーアップ事業(既存):地域一丸となって収益力強化に計画的に取り組む産地の農業者等に対し、計画の実現に必要な農業機械のリース導入や、集出荷施設の整備に係る経費等を支援する。

若手農業者の皆さん、農業青年クラブに入りませんか？

「いわき農業青年クラブ連絡協議会」は、いわき市内の若手農業者で構成された組織です。クラブ員は、米、イチゴ、トマト、なめこ、鉢花などを栽培しています。

主な活動は、定例会で技術の習得や情報交換をしたり、保育園児向けの農業教育を行ったりしています。

クラブに入れば、楽しく活動しながら、県内外にネットワークを広げることができます。

是非一緒に活動しませんか？

興味がある方は、事務局(地域農業推進課 電話 0246-24-6162)までご連絡ください。



保育園向けの農業教育の様子